

西武かわら版

立野小学校
佐倉市
制作 内田 瑞基
発行 平成26年8月12日



ヤギによる草刈り

現在、西武秩父線武蔵横手駅の線路脇で、三頭の子ヤギが飼育されています。そのヤギが機織りにも草刈りを毎日行っています。

五年前の平成二十一年群馬県高崎市(旧吉井町)から武蔵横手駅にオスの「マロ」メスの「ミドリ」のヤギ二頭がやってきました。この草刈りは、金子組という会社と共同で行われています。ヤギは草を食べて、糞を出して、草刈り機から出る草を削減し、よりクリーンな環境を作ります。当初は、三ヶ月間の予定でしたが、地元幼稚園や小学校の児童から人気で、テレビ番組にも取り上げられています。この取り組みは、環境保護と観光の両方を兼ねています。



ホームから見えるヤギの家



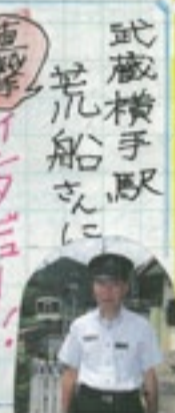
仕事中のヤギ



ちょっと休憩...

ヤギたちは、草刈りのみでなく、ハイキングや一日駅長などのイベントにも一役買っています。そして二〇一三年二月には二頭の間に一匹の子が生まれ、五月には二匹の子が生まれました。スウェーデンの羊飼いが、天國に旅立ちました。そのお墓は、ヤギの家の近くにお作られています。八月四日は、ヤギたちが家族の時間を過ごす日です。ヤギたちは、仕事を終えたら、家でゆっくりと過ごしています。

Q: どうして武蔵横手駅でヤギを飼うことにしたのですか?
A: もともと線路脇には、自然が豊かですが、駅だけならどうですか?
Q: ヤギを飼って、大変なことは何ですか?
A: 夏は、お世話が私では、保線係が担当しています。
Q: 以前は二匹しかいなかったのに、今は何匹もいますか?
A: 一日にどのくらい草を食べるのか、それを記録して、栄養バランスを考え、草を育てています。
Q: ヤギの糞は、どうしていますか?
A: 糞は、肥料として使っています。



武蔵横手駅 芝川 船さんにインタビュー!!

安全と快適ナンバー1を目指して

西武有楽町線小竹向原駅では、東京メトロ副都心線との直通運転が実現しました。これは、乗客の利便性を高めるための重要な取り組みです。また、駅構内には、高齢者や障害者の方々が安心して乗車できるよう、様々な設備が整えられています。



ホームドアには路線図



オレンジ色で目立つ優先席

西武30000系の最新鋭列車が、快適な乗車体験を提供しています。車内には、優先席や、荷物置き場が充実しています。また、駅員さんの丁寧なサービスも、お客様に安心感を与えています。

5社直通で超便利に!!

二〇一三年三月、東京メトロ副都心線と東武東横線、西武池袋線、東武東上線、東武東横線が直通運転を開始しました。これにより、乗客の利便性が大幅に向上しました。また、乗降客が増え、駅周辺の活性化も期待されています。



編集後記

祖母の家に行くときは、いつも西武鉄道を利用しています。西武鉄道は、私たちの生活に欠かせない存在です。今回の「西武かわら版」では、西武鉄道の歴史や、最新の設備について詳しく紹介しています。ぜひ読んでください。



急行飯能行と遅延

幸運を呼ぶ赤い電車

二〇一四年七月9日の朝、西武池袋線に赤い電車が登場しました。これは、西武鉄道の新しいカラーリングです。乗客からは、大きな反響が寄せられています。赤い電車は、幸運を呼ぶと言われています。ぜひ乗ってください。



急行飯能行と遅延